

行って
楽しい!

釧網線の魅力、再発見!

〈東釧路～網走間〉

- 営業キロ/166.2km
 - 駅 数/26駅(有人駅4駅、無人駅22駅(うち臨時1駅))
 - 列車本数/上下18本
 - 主な開業年と開業区間
- 1924(大正13)年 網走～北浜
 1925(大正14)年 北浜～斜里(現 知床斜里)
 1927(昭和 2)年 釧路～標茶
 1929(昭和 4)年 標茶～弟子屈(現 摩周)、斜里～札鶴(現 札弦)
 1931(昭和 6)年 弟子屈(現 摩周)～札鶴(現 札弦)



軽食&喫茶 停車場
 オホーツク海に一番近い流水の見える駅。30年以上の歴史がある駅舎カフェです。



世界自然遺産 知床国立公園
 ●知床五湖 ●カムイワッカ湯の滝
 ●オシンコシンの滝 ●フレベの滝
 ●オロンコ岩 など



網走国定公園
 ●能取湖(サンゴ草) ●瀧沸湖
 ●小清水原生花園 など



軽食&喫茶 トロッコ
 大正時代につくられた木造駅舎の事務室を利用。



阿寒摩周国立公園
 ●阿寒湖 ●屈斜路湖
 ●摩周湖 ●硫黄山 など



ラーメンきっさ えきばしや
 オホーツク産の魚介が入った「駅長ラーメン」が名物です。



オーチャードグラスと足湯
 かつての貴賓室を利用したビーフシチューが看板メニューのレストラン。駅には足湯も。



タンチョウが訪れる駅
 昭和39年から続くタンチョウへの給餌が地域の方々に引き継がれてきました。

釧網線

(線区の現状について)



釧網線(釧路～網走間)は、釧路湿原を間近に体験できるなど道東方面の観光振興にとって大きな可能性を有する線区ですが、一方で年間約14億円の赤字が生じています。皆さまに釧網線の状況をご理解いただくためリーフレットを作成しましたので、ぜひご覧ください。

ご案内

●釧網線の時刻表、アクションプラン、線区別の収支やご利用状況などの詳細データは、JR北海道ホームページからご覧いただけます。

JR北海道 検索 <http://www.jrhokkaido.co.jp>



●運賃・料金、列車の時刻などのお問い合わせは

JR北海道 電話案内センター ☎011-222-7111 (通年: / 6:30~22:00)

発行/

釧網線アクションプラン実行委員会事務局
 北海道旅客鉄道株式会社地域交通改革部

2019年12月制作
 2020年 1月修正

釧網線は、釧路市から網走市の2市6町を結ぶ166.2kmの路線。
道東観光になくてはならない交通手段となっています。

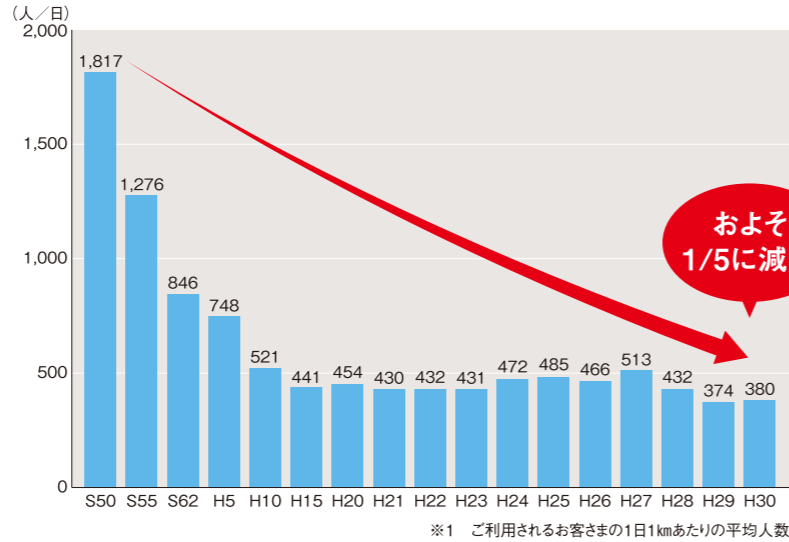
現状は…

利用者が年々減少しています

沿線人口の減少や少子高齢化、自家用車の普及などにより、平成30年度の輸送密度は昭和50年度と比較して約5分の1まで減少しています。



釧網線(東釧路～網走間)の状況[輸送密度*1の推移]

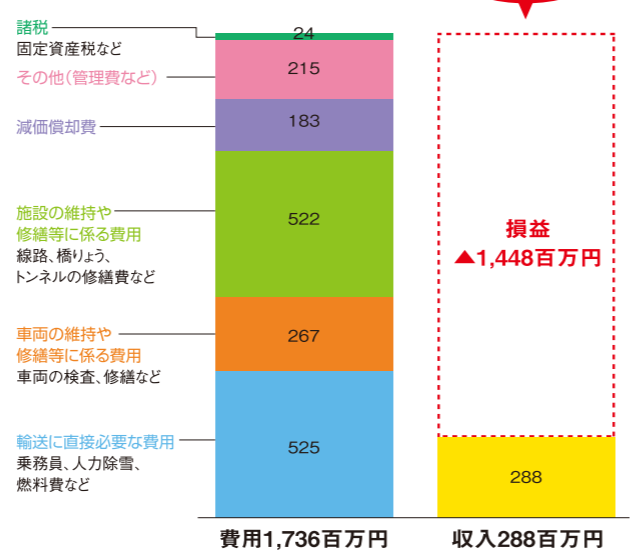


鉄道には莫大な費用が必要です

- 約2億9千万円の収入に対して、約17億4千万円の費用がかかっており、年間約14億円の赤字を計上しています。
- 1925(大正14)年に完成した濤沸(とうふつ)川橋りょうなど老朽土木構造物が多数存在し、湿地帯にある軌道の維持管理に苦慮しています。また、冬期間には吹きだまりが多発し、除雪等の対応に苦慮しています。



2018(平成30)年度 釧網線収支状況



100円の収入を得るために603円の費用が必要

線区の状況を皆さまにご理解いただくと共に、皆さまのご協力が必要です。

釧網線の取り組み

関係する皆さまのご理解とご協力を得ながら、さまざまな取り組みを進めています。

駅の空きスペースの活用



川湯温泉駅舎内に喫茶・洋食店

昭和5年開業の川湯温泉駅。現存する駅舎は昭和11年築、ログハウス風の建物は当時としては大変にハイカラでした。昭和61年に無人駅となりましたが、翌62年、駅事務室・貴賓室を改装したレストラン喫茶「オーチャードグラス」が開業。現在も多くの方に利用されています。



個人旅行の体験価値を変える新商品



ひがし北海道ネイチャーパスを周年販売!

WILLER(株)は、沿線自治体、地元事業者、JR北海道と連携し、鉄道から沿線の豊富な観光資源をシームレスにつなぐバスを販売しています。釧網線フリーバスとバス乗車券をメインに、オプションで「交通」や「アクティビティ」が選択できます。

観光列車による集客



SL冬の湿原号運行しました!

「SL冬の湿原号」の運行では、地元吹奏楽団や合唱団によるお出迎え・お見送り演奏などで賑わいました。標茶商工会主催「しべちやうまいもん発見市場」では釧路や厚岸からの出店も。



愛されて30年。釧路湿原ノロッコ号
1989年から運行している、「釧路湿原ノロッコ号」は今年30周年を迎えました。



冬の人気観光列車。流水物語号
冬限定でオホーツク海沿岸を走る「流水物語号」。冬の魅力が堪能できます。



皆さまのご利用・ご協力をお願いいたします

